



堰野端 展 雄
(高志会)

中央病院の評価意見書は

真摯に受け止め、 経営改善につなげる

議員 中央病院が地方公営企業法の全部適用を受けた平成二十二年七月以降の経営について審査を行い、評価結果をまとめ、十和田市病院事業経営評価委員会からの「十和田市立中央病院の経営健全化に係る評価意見書」について市長、病院事業管理者はどう受けとめているか。

は、評価意見書の意見を真摯に受けとめ、医師、職員が一丸となって経営改善に取り組んでいただきたいと考えています。

病院事業管理者

収益確保や費用削減など、経営改善に向けた取り組みについて、一定の評価をいただきました。しかし、市からの支援に頼らざるを得ない経営構造が変わっておらず、経営健全化は道半ばであると認識しています。

病院事業管理者 新しい会計基準に沿った、平成二十三年度の想定決算を作成し、どのような影響があるか分析、検証し対応策を考えていきます。

病院事務局長

地方公営企業会計基準の見直しは、平成二十六年年度予算及び決算から適用されることになっていきます。現在、見直しに必要な項目について検証しており、会計システムの見直しなどの対策についても早い段階で検討していきます。

市長 市からの繰出金について特筆すべき措置として評価されましたが、あくまでも対症療法的な措置であり、病院事業の構造的な問題を解決するためのコンサルティングの導入、収益確保と費用の削減を図る必要があるとの意見をいただいています。地方公営企業法の全部適用以降は単年度収支黒字化を達成していますが、これは市からの基準外の繰出金による成果でもあり、中央病院において

経営改善に取り組んでいる中央病院

議員 地方公営企業会計制度の見直しに対し、中央病院はどのように対応するのか。



経営改善に取り組んでいる中央病院

当市の再生戦略は

国策の動向を注視しながら さまざまな政策を推進する



畑山 親 弘
(市政・社民クラブ)

議員 市長は就任以来、農産物のブランド化及び六次産業化への取り組み、中央病院の再建、焼山地区再開発など、懸命に取り組んでいる。当市に限らず高齢化率は高まる一方、出生数は大幅に減少し、農村部では過疎化が進み地域が崩壊しかねない状況になっている。このような状況に対応するため、移住政策など、新たな地方の創造のため戦略が必要ではないか。

市長 少子高齢化が進む中、都市部と農村部が抱える課題は、社会情勢とともに刻々と変化しております。このため、国策の動向を注視しながら、さまざまな政策を一体的に推進し、課題に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。移住政策については研究会などを行っていきたく考えています。

企画財政部長 農村部の過疎化を防ぐためには、農業振興はもとより、生産基盤などの施策を講じ、農村部の魅力を高めていく必要があると考えています。現在進めている定住自立圏構想は、人口減少、少子高齢化等を踏まえ、自立に必要な経済基盤の整備を促進し、魅力あふれる地域を形成するものと考えています。

議員 地上デジタル放送の難視聴地域において、通常の費用のほかに自己負担している、電柱等を利用することで発生する共架料について免除する考えは。

企画財政部長 共架料の免除については、電力会社およびNITの管轄であるため、総務省テレビ受信者支援センター(デジサポ)と協議をしていきたいと考えています。



農村部の振興策が求められている

います。